

2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年7月15日

上場会社名 株式会社フューチャーリンクネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 9241 URL <https://www.futurelink.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井文晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川拓哉 (TEL) 047-495-0525
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	1,175	△1.8	△65	—	△67	—	△95	—
2025年8月期第3四半期	1,196	△0.3	△12	—	△16	—	36	102.5

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 △90百万円(—%) 2025年8月期第3四半期 42百万円(120.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	△110.60	—
2025年8月期第3四半期	43.41	42.04

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2026年8月期第3四半期は1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	942	224	21.1
2025年8月期	994	300	28.0

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 198百万円 2025年8月期 278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,741	12.7	0	—	△2	—	29	2.6	34.73

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年8月期3Q	867,998株	2025年8月期	851,328株
2026年8月期3Q	22株	2025年8月期	22株
2026年8月期3Q	861,225株	2025年8月期3Q	842,103株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げに伴う所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド消費の拡大などにより、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、物価上昇の継続や為替相場の変動、米国の関税政策による世界経済の減速等が国内景気の下押しリスクとして懸念される状況となり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが事業展開する広告業界におきましては、2025年の日本の総広告費は企業の好業績によるデジタル投資の加速や、大型イベントの開催などが成長を後押しし、8兆623億円（前年比105.1%）と過去最高となりました。動画広告需要の高まりを背景にインターネット広告費の市場規模は4兆459億円（前年比110.8%）で、総広告費に占める構成比は初めて過半数を超える50.2%となり、引き続き広告市場拡大をけん引しております（出典：株式会社電通「2025年 日本の広告費」）。

また、ふるさと納税市場においては、2024年度のふるさと納税市場は寄付受け入れ件数は前年度比約1.0倍とほぼ横ばいとなりましたが、寄付受入額は対前年度比約1.1倍の1兆2,728億円と過去最高となりました。ふるさと納税制度の認知は一般化し、今後も市場規模の拡大が予想されております（出典：総務省自治税務局市町村税課「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和7年度実施）」）。

このような環境下で、当社グループは地域情報プラットフォーム「まいぶれ」の運営を通じ、広告主である地域の中小事業者・店舗の情報発信・マーケティング支援を通じた経営支援を推進し、「まいぶれ」運営パートナーとの協働によるふるさと納税事業や地域ポイント事業の実行を通じて地方自治体の課題解決を推進してまいりました。また、子会社である地域活性A I テクノロジーズ株式会社を軸に、A I を中心としたリスティング・ラーニング事業を行い、グループ内でも積極的に活用し、業務効率化・商品開発力を向上させ事業成長に向けた投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,175,091千円（前年同期比1.8%減）、営業損失は65,224千円（前年同四半期は営業損失12,774千円）、経常損失は67,168千円（前年同四半期は経常損失16,189千円）、また、親会社株主に帰属する四半期純損失は95,251千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益36,552千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（地域情報流通事業）

「まいぶれ」を中心としたMR R（Monthly Recurring Revenue）の事業領域においては、前期より販売を開始した新サービス、地域情報特化型A I エージェント「まいぶれくん」の販売数増加に取り組んでまいりました。直営地域においては、「まいぶれくん」の販売加速に加えて、全国で多店舗展開している企業に対する営業活動を強化し、複数店舗契約や高単価なエンタープライズ商品の契約にも注力いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間における直営地域のMR R売上高（直営まいぶれ関連売上高）は147,237千円（前年同期比15.3%増）となりました。

パートナー運営地域におきましては、パートナー契約社数は138社（前年同期比21社減）、「まいぶれ」の展開エリアは893市区町村（前年同期比18市区町村減）となりました。運営パートナーの新規開拓においては、長期的に事業成長にコミットいただけるパートナーを求めターゲットの見直しを行い、良質なリード獲得に注力している段階であります。既存運営パートナーにおいては、「まいぶれくん」の販売をきっかけに新規顧客の獲得を推進しており、全国のまいぶれプラットフォーム利用店舗数は17,480店舗（前年同期比66店舗減）となりましたが、「まいぶれくん」の利用顧客は全国で2,000店舗を超えるなど着実に増加しています。これにより、当第3四半期連結累計期間の新規パートナー契約売上高は15,008千円（前年同期比66.4%減）、パートナー地域のMR R売上高は244,400千円（前年同期比3.3%増）、両領域を合わせたパートナー関連売上高は259,408千円（前年同期比7.7%減）となりました。

また、企業に対する広告・販促を扱うマーケティング支援領域におきましては、既存顧客への密なサポートにより提案の幅を広げることで新規案件の創出を進め着実に売上を作ってまいりました。さらに、関係人口創出領域においては、前期よりサービスを始めた「Nativ.media」による収益基盤の構築、「地域の仕事”ホンネ”サロン」を起点とした新たなアライアンス獲得と事業拡大を推進してまいりました。その結果、マーケティング支援、

関係人口創出の両領域を合わせたマーケティング支援売上高は204,302千円（前年同期比34.4%増）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は610,948千円（前年同期比8.9%増）となりました。またセグメント利益は132,949千円（前年同期比8.0%増）となりました。

（公共ソリューション事業）

ふるさと納税BPOでは、受託している自治体の寄付額を伸ばすグロース施策に注力し事業を推進してまいりました。2025年10月の制度改正に伴う9月の駆け込み需要と年末にかけた寄付増加の影響を受け、当第3四半期連結会計期間に当社グループが業務委託を受託する自治体の寄付額は68.2億円（前年同期比2億円減）となり、結果として、ふるさと納税関連売上高は448,353千円（前年同期比10.7%減）となりました。

その他の公共ソリューション領域では、地域共通ポイントサービス「まいふれポイント」の既存エリアや神奈川県のコサルティング受託案件における継続受託を獲得するなど、堅調に受注を重ねてまいりました。これにより、公共案件売上高は66,449千円（前年同期比36.4%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間に属するセグメント売上高は564,143千円（前年同期比11.3%減）となりました。またセグメント利益は129,776千円（前年同期比25.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は942,027千円であり、前連結会計年度末に比べ52,432千円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が22,162千円増加し、現金及び預金が86,668千円、有形固定資産が6,352千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は717,380千円であり、前連結会計年度末に比べ22,960千円増加いたしました。これは主に長期借入金（1年以内返済予定のものを含む）が52,933千円、賞与引当金が23,968千円増加し、預り金が72,250千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は224,646千円であり、前連結会計年度末に比べ75,392千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が95,251千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	489,447	402,778
受取手形、売掛金及び契約資産	187,187	209,349
商品及び製品	2,037	1,560
仕掛品	784	4,952
原材料及び貯蔵品	701	720
その他	62,014	74,744
貸倒引当金	△2,821	△3,045
流動資産合計	739,350	691,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	93,059	87,826
その他（純額）	9,493	8,373
有形固定資産合計	102,552	96,200
無形固定資産		
のれん	4,500	3,750
その他	63,345	65,164
無形固定資産合計	67,845	68,914
投資その他の資産		
投資その他の資産	100,446	99,072
貸倒引当金	△15,736	△13,221
投資その他の資産合計	84,710	85,850
固定資産合計	255,108	250,965
資産合計	994,459	942,027
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,895	38,080
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	61,035	74,664
未払金	106,107	149,399
未払法人税等	31,839	11,023
預り金	193,216	120,966
賞与引当金	24,929	48,898
その他	41,966	44,052
流動負債合計	551,989	537,084
固定負債		
長期借入金	129,402	168,706
資産除去債務	7,913	7,918
その他	5,115	3,671
固定負債合計	142,430	180,295
負債合計	694,420	717,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	282,911	290,545
資本剰余金	197,411	205,045
利益剰余金	△201,895	△297,147
自己株式	△54	△54
株主資本合計	278,372	198,390
非支配株主持分	21,667	26,256
純資産合計	300,039	224,646
負債純資産合計	994,459	942,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,196,927	1,175,091
売上原価	452,399	405,868
売上総利益	744,528	769,223
販売費及び一般管理費	757,303	834,447
営業損失(△)	△12,774	△65,224
営業外収益		
受取利息	230	550
不動産賃貸料	225	—
利子補給金	13	—
ポイント失効益	152	—
消費税等簡易課税差額収入	—	1,101
キャッシュバック収入	—	546
その他	621	632
営業外収益合計	1,243	2,830
営業外費用		
支払利息	4,412	4,224
支払保証料	236	205
その他	9	344
営業外費用合計	4,658	4,774
経常損失(△)	△16,189	△67,168
特別利益		
補助金収入	80,307	—
その他	2,641	—
特別利益合計	82,949	—
特別損失		
固定資産除却損	263	—
特別損失合計	263	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,496	△67,168
法人税、住民税及び事業税	27,998	23,381
法人税等調整額	△3,882	112
法人税等合計	24,115	23,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,381	△90,662
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,829	4,589
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	36,552	△95,251

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,381	△90,662
四半期包括利益	42,381	△90,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,552	△95,251
非支配株主に係る四半期包括利益	5,829	4,589

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1, 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域情報流通 事業	公共ソリューション事業	計		
売上高					
直営まいぶれ関連売上高	127,751	—	127,751	—	127,751
パートナー関連売上高	281,187	—	281,187	—	281,187
ふるさと納税関連売上高	—	501,834	501,834	—	501,834
公共案件売上高	—	104,417	104,417	—	104,417
まいぶれポイント関連売上高	—	29,724	29,724	—	29,724
マーケティング支援売上高	152,012	—	152,012	—	152,012
顧客との契約から生じる収益	560,951	635,976	1,196,927	—	1,196,927
その他の収益					
外部顧客への売上高	560,951	635,976	1,196,927	—	1,196,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	560,951	635,976	1,196,927	—	1,196,927
セグメント利益又は損失(△)	123,130	173,398	296,529	△309,303	△12,774

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△309,303千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、主な内訳は全社共通人件費、システム運用経費、本社地代家賃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1, 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地域情報流通 事業	公共ソリューション事業	計		
売上高					
直営まいふれ関連売上高	147,237	—	147,237	—	147,237
パートナー関連売上高	259,408	—	259,408	—	259,408
ふるさと納税関連売上高	—	448,353	448,353	—	448,353
公共案件売上高	—	66,449	66,449	—	66,449
まいふれポイント関連売上高	—	49,340	49,340	—	49,340
マーケティング支援売上高	204,302	—	204,302	—	204,302
顧客との契約から生じる収益	610,948	564,143	1,175,091	—	1,175,091
その他の収益					
外部顧客への売上高	610,948	564,143	1,175,091	—	1,175,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	610,948	564,143	1,175,091	—	1,175,091
セグメント利益又は損失(△)	132,949	129,776	262,726	△327,950	△65,224

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,950千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、主な内訳は全社共通人件費、システム運用経費、本社地代家賃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3. 前連結会計年度から、経営実態をより適切に表すため各報告セグメントのセグメント資産の見直しを行い、従来、調整額に含めていた全社資産のうち地域情報プラットフォーム「まいふれ」に関わるソフトウェア資産を「地域情報流通事業」セグメントに配分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)は、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	20,214千円	24,820千円